



本木勝利議員

労働環境確保のため公契約条例を制定しては

町長 法律制定の状況を見定めていく

■契約の厳正、公平を
どう考える

本木 最小の経費で最大の効果を求めるのが、行政における予算の使い方。その安さを競った結果、粗雑な建物や道路であったり、工場で働く労働者にしわ寄せされている。契約の厳正、公平、地元優先、社会的入札の点でどのように考えていますか。

町長 入札及び契約においては、透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施行の確保及び不正行為の排除の徹底が基本原則。よってご指摘の厳正性、公平性の確保は重要な要素と認識しています。

■低入札価格調査制度とは

本木 白鷹町低入札価格調

査制度とはどういうものですか。

建設水道課長 著しい低価格入札は、工事の手抜きなどによる品質の低下、下請へのしわ寄せ、労働条件の悪化、安全対策の不徹底につながりやすいため、契約の内容に適合した履行ができるかどうかを確認するため導入したものです。

■建設工事入札参加資格審査基準とは

本木 白鷹町建設工事入札参加資格審査基準とはどのようなものですか。

建設水道課長 建設工事の競争入札に参加することができる資格を有する者について等級を決定するもので、建設工事の業者選定の基礎となるものです。建設業法に基づく経営事項審査の総

合評定値を元に加点、減点し、格付けを総合的に決定するものです。

■建設労働者の条件確保は

本木 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の附帯決議に「建設労働者の賃金、労働条件

の確保が適切に行われるよう努めること」とある。本町ではどのような対策をとっていますか。

町長 低入札価格調査制度導入は、品質確保はもとより労働単価、労働条件のチェックに資する制度として導入しています。また建



建設労働者の条件確保へ

■公契約条例を
制定すべきでは

本木 本町で公契約条例を制定すべきと考えますがどうですか。法律制定をしながら、町の独自の考え方で条例を制定できるのではありませんか。

町長 国の動向を注視しながら検討に入りたい。本町で直ちにできる環境ではなく、情報を取りながら課題を整理し、本町の実態に即して検討し、前向きに対応していきます。